

ねりいた 練板ベー通信

2007年10月10日 vol. 65

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



成増ユージ、25Pチャンプ!

乾いた空気が秋の到来を感じさせる板橋平和公園で、10月7日(日)新タイトル戦「25ポイントマッチ」を開催した。体調の戻った入間田岡が長期休養明けから復活し、元気な顔を見せてくれた。またクラブ活動で忙しい、ダイゴとワッチャンも久しぶりに登場し、新旧合い乱れる熱戦が展開された。

人はあっという間に進化するものなのだろうか。成増支部を立ち上げて早や3年目、ついにその中からチャンピオンが誕生した。成増ユージ、彼がベーゴマを手にしたのは去年の春。月1回の寺子屋で、ごく普通にみんなとベーゴマ遊びに興じている子だ。特に目立って強いわけではない。しかし、そんな子が記念すべき初代チャンピオンになっちまうってんだからたまらないねえ。予選で満点の50点を獲得したのは、六角デビル、チョット今村、伊佐P、超人後藤、ユコリン、爺爺、成増ユージの7人。この中から決勝戦へ勝ち上がったのは、伊佐P、爺爺、成増ユージの3人だ。決勝戦へ進むには、少なくとも予選で満点を取らなきゃダメってことかねえ。

キャプテンのユージが6点勝ちでリードする。それを爺爺がジリジリ追い同点とする。ここで出遅れた伊佐Pが6点勝ちで援護する。「伊佐P、もういいぞ。」観衆はユージの応援で一色だ。そしてユージが2度目の6点勝ちでついにリーチ、引き分けでも優勝だ。これを冷静に決めたユージが初代チャンピオンに輝いた。「25ポイントマッチは得意だから。」と、大胆に言っている小学3年生、この先が楽しみだ。



池ママ、ユージ おめでとう!



女流は池ママ、子どもはもちろん成増ユージ

準決勝に進んだ池ママとユコリンが同点決勝を行い、池ママが第1回女流王を手にした。手にいっぱいギンナンとタイトルベアがお土産になった。子どもはユージ、いっぺんに2個のタイトルベアとはうらやましい。

戦国時代を迎えた女流陣

このところ女流の参加者が急増している。隊長、みずちゃん、アッコ、ゆきんこ、テルテル、ゆいちゃん、そしてそれを迎え撃つ伊佐三姉妹、池ママ、ミセス、まみい。すでに隊長はタイトルを手に入れ、優勝をうかがう勢いだ。厚みを増す女流陣、熱き女の戦いにも注目だ。

デビル肉薄、ヒラケン危うし、もつれる名人戦ファイナル

10月場所を終え六角デビルがヒラケンに3点差まで迫ってきた。伊佐Pが4点差、残りの対戦人数で一人多い北馬中郎が9点差だ。ヒラケンは怪鳥、超人後藤、タイキローの三人を残している。デビルはまみい、グッチ、ケイタ。伊佐Pはまみい、マサキ。北馬はケイタ、とーさん、イシリユード。女流はユコリンが2位のマイちゃんに8点差をつけて7位、子どもはマイちゃんが2位のタイキローに8点差をつけて16位だ。